

問4 図面と図面の簡単な説明（特・実）

図面と図面の簡単な説明に関して留意すべきことは。

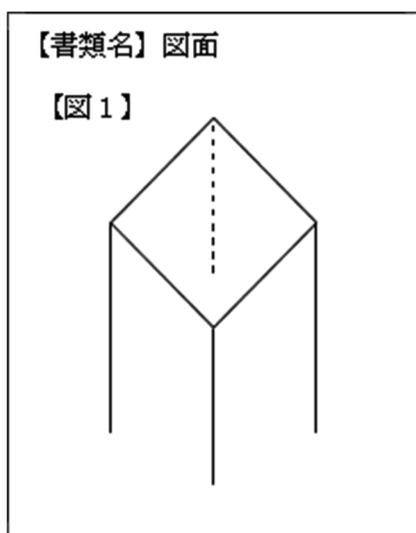
答： 図面の描き方、図の番号、図面の簡単な説明の記載方法について、以下のように留意点をまとめました。

〈図面の描き方〉

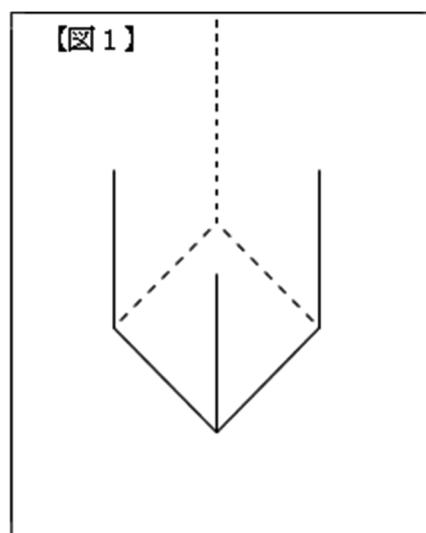
1. 1の番号を付した図を複数ページにわたって記載してはなりません。
図の番号は、全ページを通じて各図ごとに連続番号を付さなければなりません。

（誤った記載例）

（1頁）

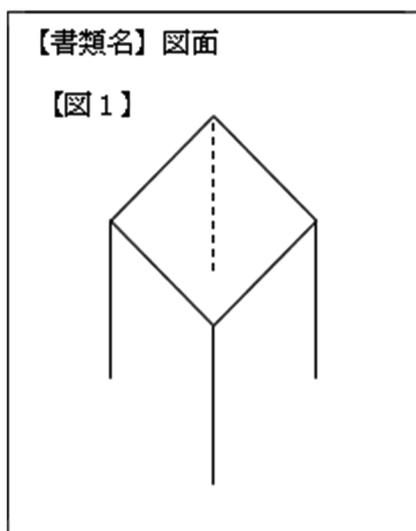


（2頁）

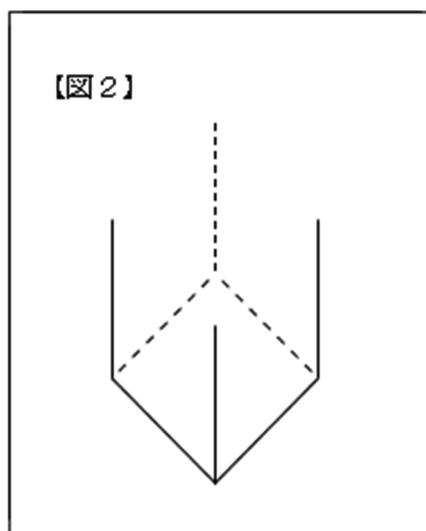


（正しい記載例）

（1頁）



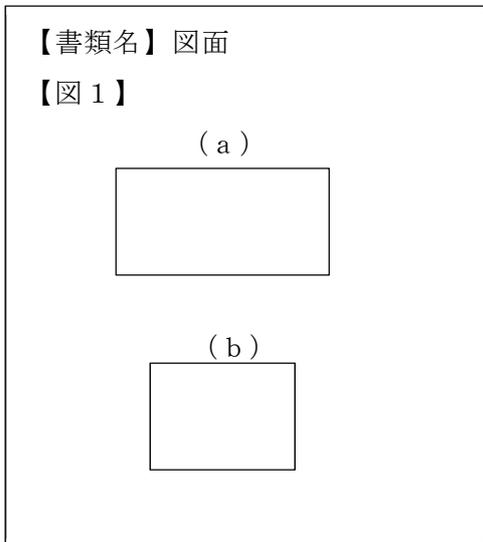
（2頁）



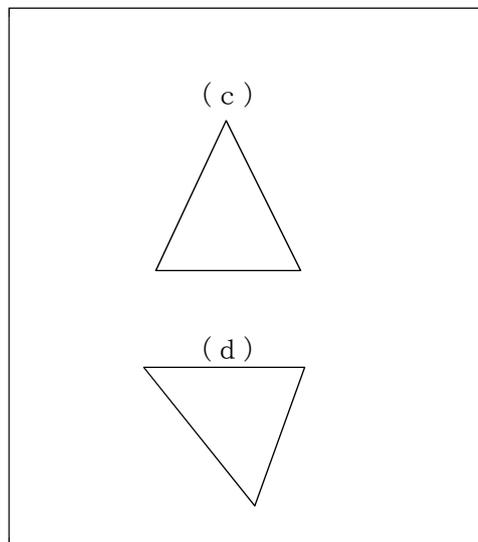
2. 1の図が分図の集合によって構成されている場合は、分図全体を1の図として図の番号を付し、1ページの中に記載します。なお、分図ごとに分図の番号を付す場合は、アラビア数字、アルファベット等を用いて記載します。

(誤った記載例)

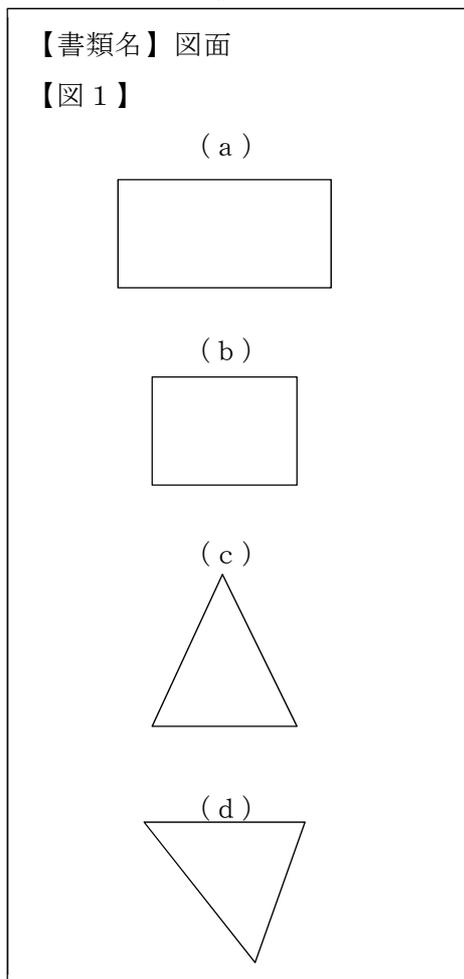
(1頁)



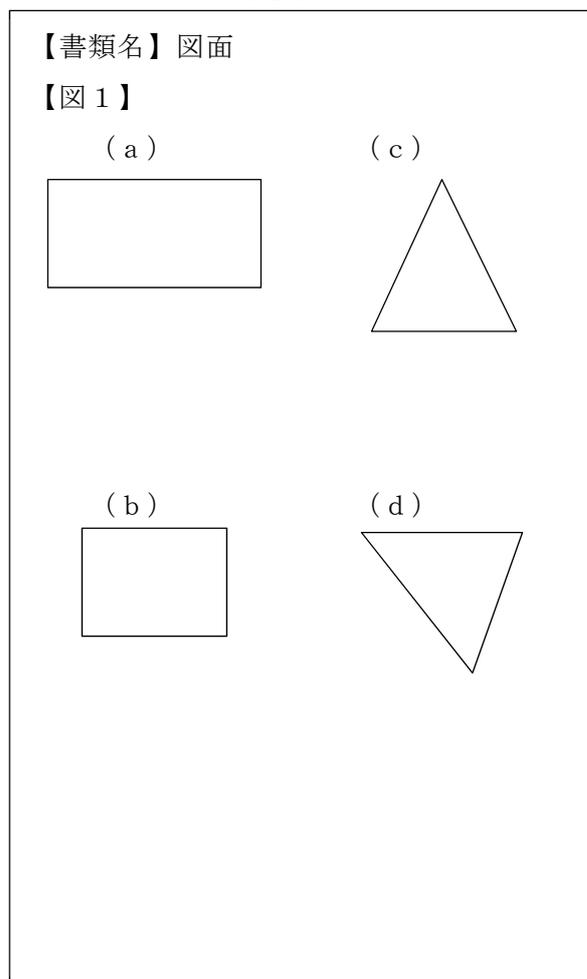
(2頁)



(正しい記載例1)

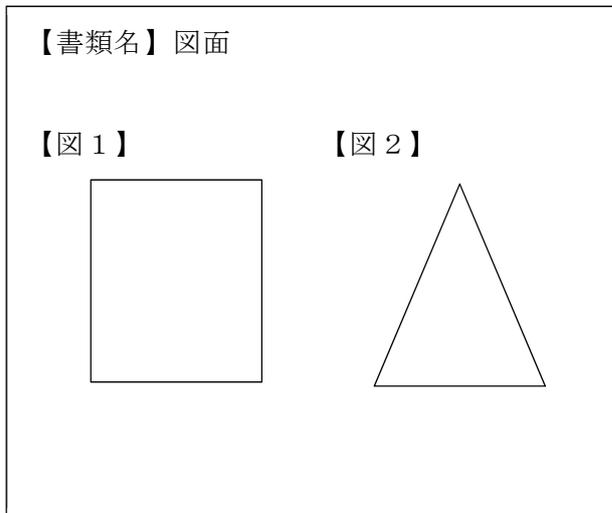


(正しい記載例2)

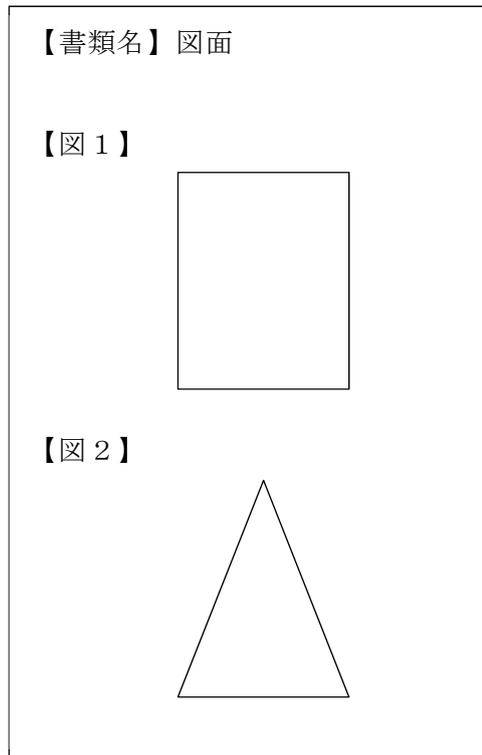


3. 異なる番号を付した図を横に並べて記載してはなりません。

(誤った記載例)

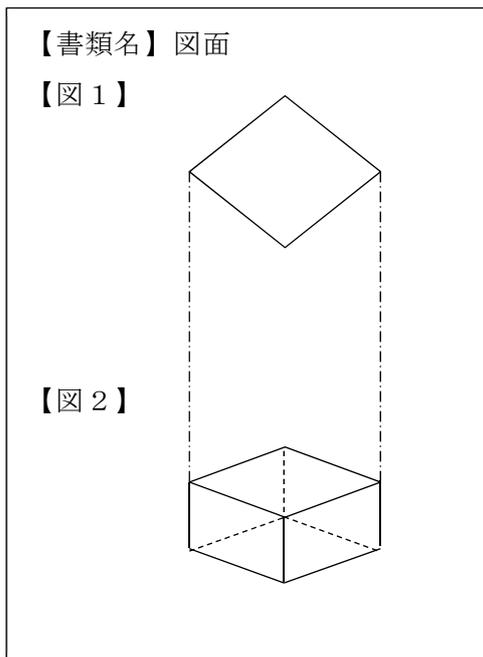


(正しい記載例)

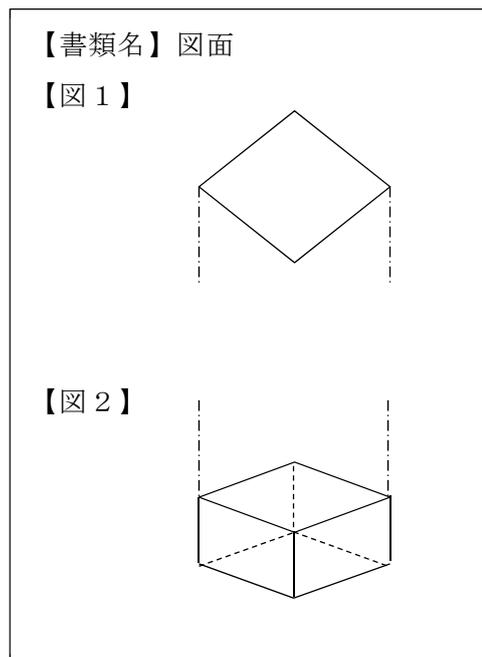


4. 異なる番号を付した図にまたがって引出線、鎖線、点線等を用いて記載してはなりません。

(誤った記載例)

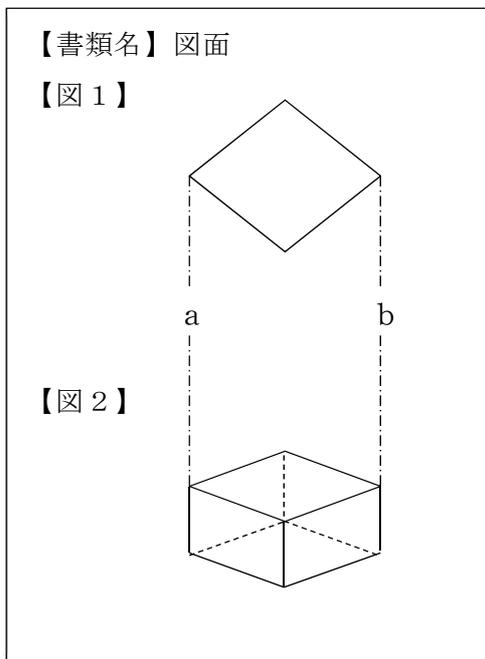


(正しい記載例)

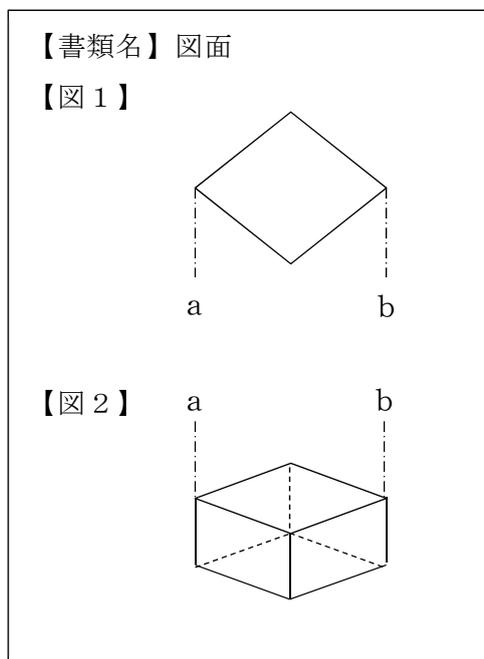


5. 異なる番号を付した図にまたがって引出線、鎖線、点線等を引いて、符号、図の主要な部分の名称を一つにまとめて記載してはなりません。

(誤った記載例)

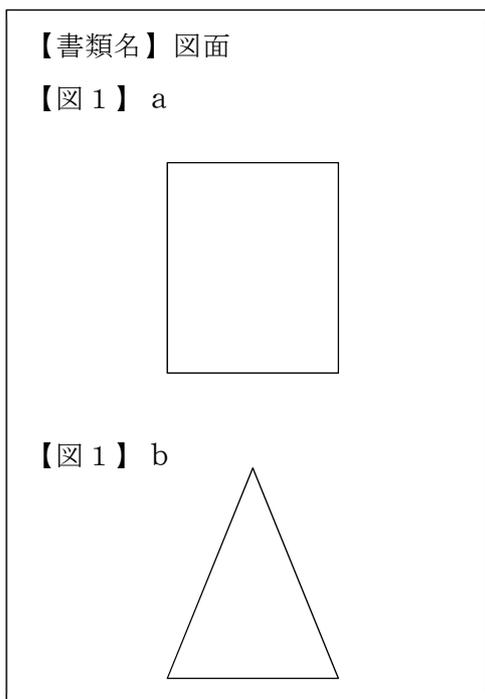


(正しい記載例)

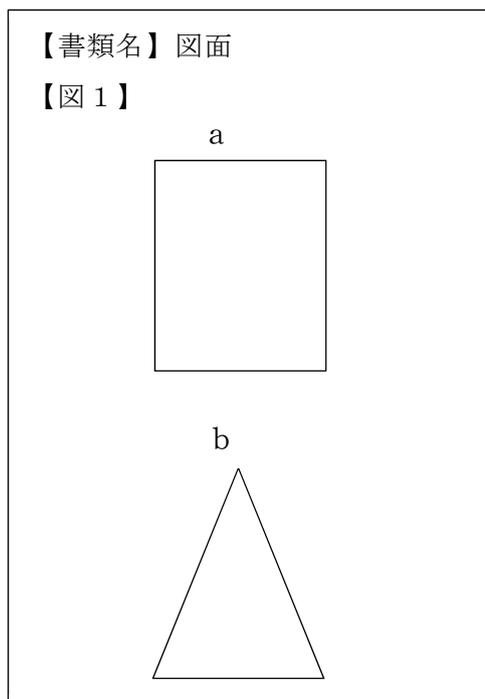


6. 図の番号には枝番号を付して「【図 1】 a、【図 1】 b」のように記載してはなりません。

(誤った記載例)

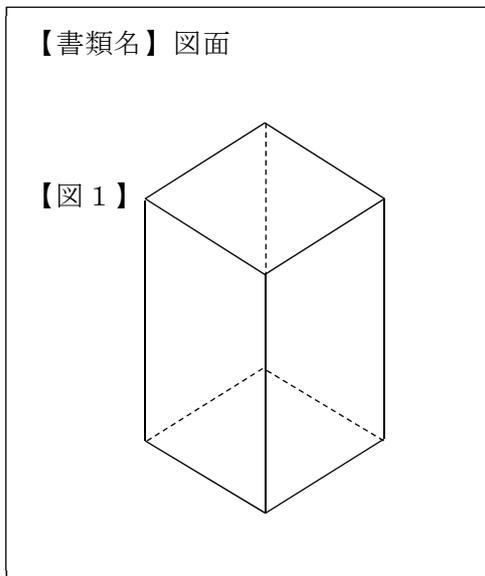


(正しい記載例)

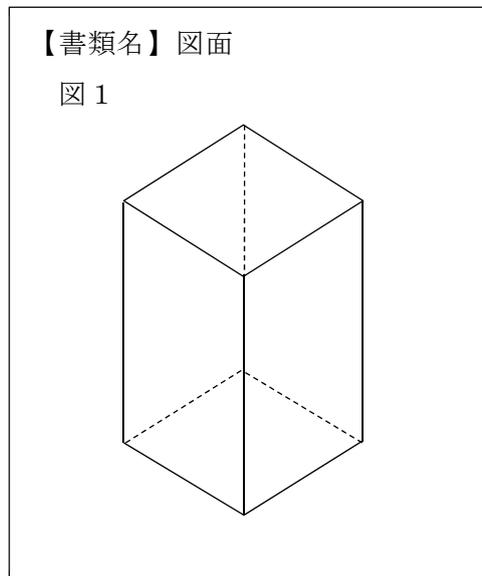


7. 図の番号は、図の上にすみ付き括弧（【】）を付して正しく記載（コードデータで記載）し、イメージで記載してはなりません。

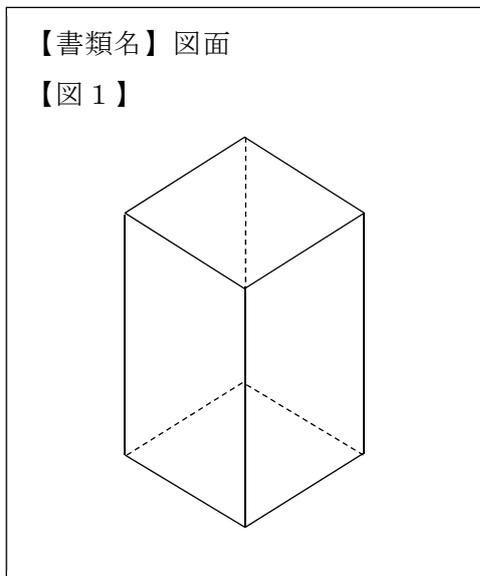
（誤った記載例）



（誤った記載例）



（正しい記載例）



〈図面の簡単な説明の記載方法〉

1. 原則として、図面の簡単な説明の図の説明又は符号の説明の前に、それぞれ「【】及び「」を付した4桁のアラビア数字で「【0020】」、「【0021】」のように発明の詳細な説明から連続した段落番号を付します。この場合において、「【図面の簡単な説明】」又は「【符号の説明】」の見出しの次に段落番号を付し、これらの見出しの前に段落番号を付してはなりません。

(記載例)

【図面の簡単な説明】
【0020】
【図1】。
【図2】。
【符号の説明】
【0021】
.

2. 図の説明は、行を改めて「【図1】平面図」、「【図2】立面図」のように各図ごとに記載しなければなりません。たとえ複数の図の説明が同じ場合であっても、各図ごとに行を改めて記載します。

(正しい記載例)

(1) 複数の図の説明が異なる場合

【図面の簡単な説明】
【0020】
【図1】 . . の平面図
【図2】 . . の立面図

(2) 複数の図の説明が同じ場合

【図面の簡単な説明】
【0020】
【図1】 . . の平面図
【図2】 . . の平面図

3. 分図の集合により構成され、分図の番号を付した図の説明の記載について

(1) 1の分図全体の図番号を用いて包括説明をします。なお、分図それぞれの説明をする必要はありませんが、必要に応じて分図ごとの説明をあわせて記載することもできます。

(正しい記載例)

【図面の簡単な説明】
【0020】
【図1】の平面図。
【図2】の立面図。(a)は。
(b)は。

(2) 1の図に含まれる分図全体の番号を明確にして、分図全部を個別に説明します。この場合、1の分図全体の包括説明は省略することができます。

(正しい記載例)

<p>【図面の簡単な説明】</p> <p>【0020】</p> <p>【図1】 の平面図。</p> <p>【図2】 (a)は.。(b)は.。</p> <p>(c)は.。</p>
--

4. 図面代用写真について

図面代用写真については、カラー写真を添付することはできません。カラー写真で提出されても、特許庁の記録原本には白黒で格納されることになり、公開公報の発行や審査官の審査も当該記録原本に基づいて行われることとなります。また、手続補足書で図面を補足することはできませんので、手続補足書でカラー写真を提出することはできません。なお、審査の参考としてカラー写真を提出したいときは、物件提出書で提出します。(問20参照)